

福祉対策部 活動報告

福祉対策部長 時田 始
福祉対策部付 増田伸也

《一年を振り返って》

平成 26 年度は、医療に関するアンケートについて千葉通研医療班との協議を何回か開催し準備を進めてきた。内容の最終確認を経て次年度始めに調査をスタートさせる予定のところまできている。

昨年に引き続き「長寿を祝う会」を開催、記念品贈呈、会食などに加え、昨年同様 80 歳以上の長寿に対する表彰を行った。表彰には昨年は会員のみ対象だったが、今回より非会員にも表彰を行った。(会員には表彰状とクッキー、非会員には表彰状のみとわけた、但し記念品贈呈対象の米寿以上の方はいなかった) また記念講演には戦後のろう者の漫画家の武石豊一氏(東京在住)にお越しいただき戦後の時代背景などについて語っていただけたことも特筆であった。(あの時代、自分がろう者であることを隠さなければ通れないという話もあったり、戦時中は疎外で一時千葉聾学校に在学したこともあったりした)

ろう重複障害者への支援活動としては、「千葉県ろう重複障害者施設をつくる会」の理事会に出席したり、カンパ活動に関わってきた。カンパや会費収入の年度総額は下記通りだが、平成 26 年度は個人の 200 万円寄付を除くと、平成 25 年度に比べて約 14 万円程度の増額にとどまるかたちとなった。次年にはもっと各市レベルでの展開に力をいれていきたい。

平成 25 年度 **4,747,811 円**(カンパ等 3,467,811 円+会費収入 1,280,000 円)

↓

平成 26 年度 **6,891,375 円**(カンパ等 5,589,375 円+会費収入 1,302,000 円)

「らいおんぐるーぶ」で工房、千葉、香取に続き、本年度は初めて生活の場である「らいおんホームそが」が開設。今後も続いて県内各地域(とくに南総、葛北、そして総武)にろう重複障害者関連施設の設置を推し進めるべく、今後もつくる会の活動への参加・協力を継続していきたい。

また、「ろうあ者相談員研修会」も開催、東京の聴覚障害者自立支援センター所長の矢野耕二氏にお越しいただき、相談員の重要な基本“傾聴”についてお話しいただいた。(相談員とは指導者でなく相手と同じ目線で聴きながら相手の本当のニーズ

を引き出すということを学んだ) 参加はろうあ相談員、身体や地域相談員、設置通訳、手話協力員も含め 30 名超えであった。

《事業報告》

●長寿を祝う会

<事前会議>

日 時) 平成 26 年 7 月 24 日(木)
会 場) 千葉聴覚障害者センター
出席者) 時田福祉対策部長、増田

<長寿を祝う会>

日 時) 平成 26 年 9 月 21 日(日)
会 場) 千葉聴覚障害者センター3 階
参加者) 全員 60 名 内、70 歳以上 31 名

<ろうあ相談員連絡会>

日 時) 平成 27 年 3 月 7 日(土)
会 場) 千葉聴覚障害者センター3 階
参加者) 30 名以上

●医療に関するアンケート企画・準備会議

日 時) 平成 26 年 7 月 14 日(月)、10 日 10 日(金)、10 月 28 日(火)、
11 月 18 日(火)、12 月 25 日(木)、1 月 20 日(火)
2 月 16 日(月)、3 月 6 日(金)
会 場) 千葉聴覚障害者センター
出席者) 時田福祉対策部長、増田
内 容) 医療班の打ち合わせ